

令和7年度 第1回新潟北警察署協議会議事概要

開催日時	令和7年6月27日（金）午後4時00分から午後5時30分まで		
開催場所	新潟北警察署講堂		
出席者	委員 (定数7人)	高橋会長 江戸委員 伊藤委員 南委員 渡邊委員 (会長以下50音順)	計5人
	警察	麩澤署長 坂口警務課長 森谷会計課長 寺崎生活安全課長 新保地域課長 小酒井交通課長 渡邊警備課長	計7人

管内の治安情勢

署長から、令和7年4月末現在における管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

署長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 地域の安全・安心確保のための取組の継続的推進

(1) 犯罪抑止対策の積極的な推進

ア 特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の抑止・検挙活動の推進

各種会合や研修会において特殊詐欺等に関する防犯広報を実施したほか、犯罪の未然防止に貢献した店舗に対し署長感謝状の贈呈などを行った。

イ 空き巣、万引き及び自転車盗等住民の身近で発生する犯罪の抑止・検挙

6月9日を「ロックの日」と称して、自転車や自宅などの鍵かけを呼びかける防犯広報などを行った。

(2) パトロール活動など安心感を高めるための街頭活動の推進

制服警察官による積極的な街頭指導を行うとともに、地域住民と連携しながら児童の通学時の安全を確保する活動などを行った。

2 春の全国交通安全運動を始めとする交通事故防止対策への取組の推進

(1) 春の全国交通安全運動の実施（4月6日～4月15日）

ア 福島潟のマスコットキャラクター「クイクイ」に横断歩道渡らせ隊長（鳥）を委嘱して、歩行者の交通事故防止広報を実施した。

イ 管内の観音菩薩像前において関係機関・団体と共に交通安全祈願祭を行うな

ど積極的な広報活動を行った。

(2) 各種交通事故防止対策の推進

ア サイクルポリスと連携した自転車利用者に対する広報活動

「自転車安全月間の取組強化期間」にサイクルポリスや関係機関・団体と共にJR豊栄駅において自転車乗車時のヘルメットの着用、鍵かけ励行の広報啓発活動を行った。

イ 横断歩道の緑化計画の推進

児童等の横断歩行者の安全確保のため、道路管理者と連携し、横断歩道の視認性を高める「横断歩道緑化計画」を推進した。

ウ 園児・児童・学生に対する交通安全教育

関係機関と連携し年代に応じた参加・体験型の交通安全教育を行った。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 地域の安全・安心確保のための取組の推進

- (1) 特殊詐欺等の犯罪被害防止対策の推進
- (2) 安心感を高めるための街頭活動の推進

2 高齢者対策を中心とした交通事故抑止対策の推進

答申

新潟北警察署協議会として協議・検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

意見・要望・質疑等（○は署長等の説明）

1 諮問事項に対する意見等

- (1) 高齢者による高速道路などの逆走事案が報道されているが、管内において逆走事案は発生しているのか。また、逆走防止の対策はしているのか。

○ 本年の発生は把握しておりませんが、去年は新潟・新発田バイパスを逆走した車両が他署管内で事故を起こしたという事案があり、テレビ等で報道されました。

当署では、逆走防止のための注意喚起の看板や道路標示の明確化など、道路管理者と連携した対策を講じていきます。

2 その他の意見等

- (1) 不法投棄対策については警察、行政及び地域が協力して取り組んでほしい。

○ 不法投棄対策に関しては、これまでも管内の住民や県・市の担当者から相談が寄せられているところですが、行為者の特定が困難であり、対応に苦慮しています。

今後も関係機関と連携して取り組んでいきたいと考えています。

- (2) 横断歩道において、横断歩行者が車から遠い位置にいる場合でもドライバーは止まらなくてはならないのか。

○ 道路交通法では、横断歩道を横断する歩行者や横断しようとしている歩行者がいる場合、車両は一時停止し、その通行を妨げてはならないと規定されています。

横断者との距離や横断者の状態などを踏まえて、現場に応じて判断することとなるため一概には言えません。周囲の状況を確認して、交通状況に応じた安全運転をお願いします。

(3) 交差点関連の交通事故の割合が多いとのことであるが、信号機のある交差点と信号機のない交差点での交通事故の発生状況について伺いたい。

○ 信号機が設置された交差点と設置されていない交差点では、交差点の数として、信号機が設置されていない交差点の方が圧倒的に多く、交通事故の発生件数も多くなっています。

一方、信号機が設置された交差点においても交通事故は発生しており、負傷者の負傷程度は大きくなる傾向があります。信号機の有無に関わらず、交差点では周囲の状況に注意を払い、安全確認を徹底することが事故防止につながります。

速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

その他

警察署協議会の開催状況写真

